

大学名 愛知教育大学

第69号 特集テーマ
「国立大学のこれから」



国立大学法人
愛知教育大学
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

表題 大学のリブランディング 教育の未来を共に創る「愛知教育大学未来共創プラン」

リブランディングは、コンセプト創りから

愛知教育大学は、これからの教育大学が目指すべき姿を「子どもの声が聞こえるキャンパス」、「地域から頼られる大学」として、令和3(2021)年3月に「愛知教育大学未来共創プラン」を策定・公表した。大学のリブランディング戦略として、次世代を担う若手の教職員を中心に学長戦略WGを立ち上げ、プランの原案を創り、学生・院生・教職員・附属学校園・教育委員会等、学内外の関係者と意見交換を繰り返してコンセプトを共創した。同プランでは、「愛知教育大学は、子どもと共に、学生と共に、社会と共に、附属学校園と共に、未来の教育を創ります」というビジョンを提示し、その実現に向けて重点的に取り組む3つの目標を掲げるとともに、9つの戦略を立てた。以下では、そのうちの一つ、戦略1「子どもキャンパスプロジェクト」を紹介する。

「遊び」から「学び」を創り出す

「子どもキャンパスプロジェクト」では、大学及びその周辺地域を「学び」と「遊び」を一体化できるエリアとして、実践フィールドと実践プログラムを提供している。2022年度の「子どもキャンパス」に参加した園児・児童・生徒は約3,000名、学生、保護者、学校教員の参加者は2,500名以上だった。同プロジェクトは、学生が主体的に参画し、子どもと関わる場を提供することで、教育実習や学校体験活動を補完し、教職に就くことへの不安を解消することもねらいとする。

「伝統と共創」：教育の未来が華やかに開く



本学は、令和5(2023)年に前身である愛知県養成学校が明治6(1873)年に設立されてから150年の節目を迎えた。創基150周年記念のロゴのコンセプトは「伝統と共創」である。大学、附属学校園、地域の教育の未来が華やかに開くよう、150の「0(ゼロ)」は花の輪をイメージし、本学の創基となる1873年から共に伝統を紡いできた師範学校・附属学校園・学芸大学の校章を円環状に並べた。

この伝統の下、これからの愛知教育大学は、地域の学校、行政、企業、NPOなどの多様なステークホルダーが関わり合い、新たな価値を生み出す共創の拠点として、地域を創り、人を育て、社会と共に力強く歩み続ける。

愛知教育大学未来共創プラン

<https://www.aichi-edu.ac.jp/cocreate/>